

[18_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468126>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報．18（6），1985-11-25．九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編集後記

「私の名まえはジョン子、兎の子どもです。昨日とても悲しいことがあったの。大好きなお母さんが、おそろしいライオンに食べられてしまって……。皆で食べ物を探しに出かけると、突然ライオンが襲いかかってきたの。お母さんは、私達をかばってとび出したわ。家へ向かって走りながら振り返ると、大きなライオンの手がお母さんを押さえつけているのが見えた。涙がいっぱいあふれてきたけど、弟や妹を連れて一目散に家の中に駆け込んで、一晩中肩を寄せ合って震えてた……」

「僕の名はレオ。昨日は久しぶりに御馳走にありつけたんだ。もう一週間も食べるものがなくてお腹がペコペコだったから、お母さんは随分遠くまで狩りに行ってくれたんだよ。兄弟達もとても柔らかくておいしい兎の肉を食べて、ようやく元気をとりもどすことができた。……」

ひとつの事実の中にも、たくさんの真実が秘められています。ある人にとっての白が他の人には黒に見えることもあります。様々なメディアを通して伝えられる情報の多くは、ひとつの事実をひとつの側面からのみ捉えているようです。それは伝え手の悪意の有無を問わず画一的な伝わり方をするし、その過程でいくつもの真実がねじまげられ、消されていきます。

今年も多くの事件がありましたが、ロス疑惑、日航機墜落、やらせリンチ等、本人はもとより周囲の人々の真実をも叩きつぶしてしまったり、真実のみならず事実までも歪めてしまったことに、強い憤りを覚えた人も多いと思います。報道の世界だけでなく、私達の周りにもしばしばあることですがそれら無数の情報を厳しく取捨選択し、伝えられなかった真実までも察することのできる豊かな感性を持ちたいものですね。

(YOU)

広報の配布を希望される方は、官製葉書に下記事項を横書に記入してお送りください。

- 氏 名
- 職 名
- 所 属
- 広報発送先および住所（郵便番号）と電話番号

連絡場所（連絡所がある場合）

宛 先

〒 812 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

九州大学大型計算機センター共同利用掛

641-1101 (代) 内線2505